

せいらんそう

創立50周年記念号

第50号

2021.2



創立50周年記念式典の様子（P3掲載）

Contents

- P 2・3 法人創立50周年 記念メッセージ
- P 4 創立50周年記念 施設長・管理者に聞きました！
- P 5 芳香会のエコ活動
- P 6 機能訓練で能力アップ
- P 7 事業所トピックス
- P 8 芳香会活動報告
芳香会スケジュール
編集後記



芳香会病院青嵐荘療育園通所事業所より（P7掲載）



この度社会福祉法人芳香会は 2020 年 12 月をもちまして 創立 50 周年を迎えました。
これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より深く御礼申し上げます。
これからも皆様の御期待に添えますよう一層努力してまいります所存でございます。
今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

法人創立五十周年 記念メッセージ



理事 赤岩 茂

(平成十九年 理事就任)

税理士法人 報徳事務所

理事長

『社会福祉法人の先駆者として』

創立五十周年まことにおめでとうございます。ここに半世紀という輝かしい歴史を刻まれたことは、理事長をはじめとする役職員の皆様の日ごろの努力の賜と心より敬意を表します。

さて、芳香会では早くから、老人、児童、障害の福祉の三分野に広く取り組み、地域の社会福祉課題の解決に尽力するだけでなく、人材の育成においても、奨学金制度などにより、職員の資格取得を奨励し、EPAによる、外国人介護福祉士候補者を受け入れ、彼らとの共生を実現するなど、県内社会福祉法人でも先駆的な実績を残しています。

さらに、平成二十三年には、社会福祉の向上と芳香会の発展に関する総合的な調査研究を行うことを目的に、社会福祉研究所を設立し、日々の活動をベースにした研究や提言を行い、その成果は学会等でも発表され、知見を広く社会にも還元しております。

このような輝かしい足跡を残した芳香会が次の五十年、百年と、関係者にとってかけがえのない法人としてさらなる大成を目指されることを心より祈念申し上げます。



監事 天野 マキ

(平成二十四年 監事就任)

東洋大学名誉教授

宇都宮短期大学名誉教授

『社会福祉法人芳香会 創立五十周年に寄せて』

社会福祉法人芳香会の監事を承つて、ほぼ十年ほどになるかと思ひます。芳香会との関係は、理事長宇留野ご夫妻の東洋大学院生在籍時代にさかのぼります。院生時代の宇留野ご夫妻は、仲の良い研究者仲間でした。まだ結婚前で、その後現在のように大きな社会福祉法人をお二人で運営されていくなんて、夢にも考えたことがありませんでした。

社会が変化し、社会福祉士の資格を制度化することになり、社会福祉学会の領域でも、当時原宿にあった社会事業大学に頻繁に集まり、激烈な議論が交わされました。社会福祉の領域を理論的に高め、慈善事業の域から脱出すること、貧困や障害問題を差別から切り離して、より専門度の高い経済学や社会問題として考える立場の人々は、社会福祉士という資格づけで、有資格者の大量生産を行うことに不安がありました。その後、資格制度は成立し、東洋大学でも、資格取得のための実習が始まりました。その頃、最も信頼のおける実習機関として注目されたのが、芳香会でした。

大学院卒業後のご夫妻は、社会福祉六法に法制化された概ねの施設を設置し、その理念や理論の最前線を常に目指すため、研究所を設置されておりました。

社会福祉の領域は、社会的弱者が利用者であることが多く、その人権にふれる実践が多いため、常に理論的根拠の追及が必要になります。五十年をかけて、社会福祉実践の理想的な環境を構築され続けているご夫妻に、心より応援をしたいと願っております。五十年、本当に、おめでとうございます。今後のご健闘を心より、お祈り申し上げます。



評議員 志村 和俊

(平成二十九年 評議員就任)

弁護士法人 古河法律事務所

代表弁護士

『創立五十周年に寄せて』

創立五十周年誠におめでとうございます。激動の半世紀の間、事業を継続され、発展し続けたことに、心から敬意を表します。

私が、芳香会に関わりを持たせていただいたのは、平成二十六年に苦情解決第三者委員に就任させていただいたときからになります。同委員会では、芳香会での事業の中で起きた苦情やヒヤリハット事案等について報告をいただき、その対応策について協議を行っていました。その際、芳香会の職員の委員会に臨む姿勢から、ご自身の事業・サービスをより向上させていきたいという気概がひしひしと伝わってきたことに感銘を受けました。

その後、平成二十九年からは、芳香会の評議員として、より全体の事業の意思決定に関わらせていただく機会をいただきました。毎回の評議員会においても、各事業所の責任者から入念な準備を基にした報告がなされており、真摯に事業に向き合う姿が随所に見られます。こうしたたゆまぬ努力の積み重ねが、芳香会の五十年を造り上げていったのだと感じています。

今後は、科学技術の発展や社会観念の変容等、今まで以上に舵取りが難しくなることが予想されますが、これまでの歴史を紡いでいった努力を重ね、次の半世紀に向けて益々ご発展されることを、心より祈念しております。



苦情解決第三者委員

中山 征勇

(平成三十三年 委員就任)

元茨城県立結城特別支援学校長

『芳香会 創立五十周年に寄せて』

創立五十周年誠におめでとうございます。半世紀に渡り、地域の医療・福祉・教育に多大な貢献をされてきたことを目にして来た私は、現在の芳香会の発展した姿に贈る言葉が浮かばない程です。実に確実に、緻密な計画の基、職員の増大にもかかわらず、一丸となって活動されていることに感動しております。

小生の芳香会との付き合いは、昭和五十四年の養護学校(現特別支援)義務制からです。当時、少子・高齢化は予想だにしませんでしたが、二代目信夫理事長さんは予見していたようです。教育・福祉の充実、とりわけ高齢者福祉関係には重点をおくれました。それらは三代目光子理事長さんによって充実を増しています。

苦情解決第三者委員会も例外ではなく、これほど委員会の内容が充実している法人は他にありません。内容は省略しますが、毎回実施をすることは、サービス向上に欠かせません。二〇二〇年もコロナ禍で大変な中、リモートを通じて実施をし、その様子は昭和四十年代の古河一中の指導方針「継続は力なり」を思い起こしました。

最後になりますが、芳香会の増々の充実、発展と「継続」をご祈念申し上げます。



芳香会社会福祉研究所

顧問 高山 忠雄

(平成二十三年 顧問就任)

鹿児島国際大学名誉教授

芳香会 元監事

『芳香会 創立五十周年に寄せて』

社会福祉法人芳香会五十周年に際して心からお祝い申し上げます。

芳香会の誕生は、疲弊した戦後社会も立ち直りを見せ東京オリンピックを境に経済は上向き、世界第二位の経済大国を自認する一方で、福祉の関心も高まる気運でありました。

法人設立に向け初代理事長は崇高な哲理を基に社是を「福祉大家への道に優れた人」とし、経営理念を全職員に深く浸透させ安定と成長の源としました。

始動した法人の半世紀は好景気の昭和期二十年と不況低成長の平成期三十年と見る事ができます。特に昭和期はバブル崩壊まで続き、国は潤沢な税収を福祉に充て、福祉法の制定や改正を早めました。他方、不況下の平成期は経済活動の低迷に加え大企業の倒産もあり失われた二十年はその後も続きました。しかし芳香会は法人理念を見事に生かし、昭和期は体力を温存し人材育成に力点を置き、平成の不況時には何事にも積極的な動き、事業規模も昭和期の施設開設六ヶ所を、平成期には在宅事業を中心に二十三ヶ所、実に二十九の施設事業を五百人の職員で運営してきたことは正に福祉大家の実像と言えます。他方、法人の持味は創立以来他機関との積極交流で、研究教育機関や行政等との共同研究は元より、地域社会の積極的参加は新しい社会福祉法人像形成に寄与されるものと確信しております。

最後、芳香会の百年、これまでの五十年、これからの五十年、誌の近刊を心待ちにしてお祝いの筆とさせて頂きます。

「創立五十周年記念式典を行いました」



二〇二〇年十二月二十四日、芳香会創立五十周年記念式典を開催しました。当日はコロナウィルス感染拡大防止の為、代表者に会場に集まって頂き、会場と各事業所をオンライン(Zoom)で繋いでお祝いしました。

式典では、つくし園の和太鼓チーム和音(かずね)、牛ヶ谷保育園、たま保育園の園児、ケア・アシスタンスのご利用者様の発表や理事長挨拶、永年勤続者の表彰等を行いました。

永年勤続者は勤続二十年以上の職員計三十一名が表彰されました。沢山の方に支えられ、五十周年を迎えることが出来たことに職員一同心から感謝し、喜びを分かち合う式典となりました。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いたします。

←式典会場の様子



→永年勤続者表彰



50周年記念式典の様子をYouTubeで公開しています。是非ご覧ください(^_^)
【芳香会チャンネル】
<https://youtu.be/PVUOW9Qo44>

創立
50周年
記念

施設長・管理者に聞きました！

法人や施設の強みを教えて下さい



中島みゆきの歌に【糸】がありますね。縦糸・横糸がうまく細あって布が完成します。そのことを常に意識した行動ができる職員が増加していると自負しています。（理事長 宇留野）

生活支援が必要な方々の多様化したニーズに応える“伴走者”として何ができるのかを常に考えて実践しています。（養護老人ホーム 根本）

介護業務の他に相談・看護・事務・調理・用務業務も担う、より高度の専門性が求められる集大成の事業所です。（グループホーム穂の香 西村）

多士済々のスタッフが日々精進。目玉は腰痛予防にマニュアル動画化。そしてアメニティの拡充。毎日面白い。（特別養護老人ホーム 宇留野）

地域には、芳香会の先人たちが残した成果がある。私たちには、それをキャッチして繋ぐ役割がある。（結城市地域包括支援センター 南分室 野村）

いつも「花」がある保育園。子どもの主体性を大切にしつつ、職員が主体的に行動しているところ。（たま保育園 中山）

抜群のチームワークと何事にも前向きな姿、職種間の連携、職員全員が変化していく事に前向きで保護者様からの信頼も厚いです。（牛ヶ谷保育園 菅）

snsを通じて療護園の魅力を発信しています。全国のなかまと繋がる、広がる、高め合う。日々挑戦。日々成長。（療護園 落合）

開放的な居住空間で、医療と介護のブローが日々の生活を支え、利用者さんの明るい笑い声に包まれる施設です。（療育園 中島）

当施設は、医療・介護・リハビリサービスと同時に受けることが出来る、大変便利な施設です。（ケア・アシスタンス 谷津）

利用者様、保護者様、職員が協力しい生活の質の向上を目指しています。のびのび暮らせるように応援します。（落のとう舎 小倉）

地域に点在していますが、法人内で様々なバックアップを受けられることが、入居者の生活の安心に繋がっています。（みのりホーム 池田）

老若男女多様な働き方ができ、チームワークも良く定着率も高く、明るく楽しい元氣な職場です。（つくし園 篠塚）

芳香会の広告塔として、たくさんの方を笑顔にする為、ポジティブにアクティブに、地域を縦横無尽に駆け回っています。（つくし園相談支援事業所 長谷川）

我々の強みは、ずばり「強運」。素晴らしい関係機関の方々と出会うことのできる強運に、日々、感謝しております。（茨城県地域生活定着支援センター 酒寄）

～芳香会のエコ活動～

ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員で協力しながら様々な活動を行っています。
継続は力なり。これからも細く長く続けていきたいと思ひます。

[いつもご協力ありがとうございます]

芳香会では、エコ・リサイクル委員会の活動として資源ゴミのリサイクルをしています。



空き缶(アルミ・スチール)、ペットボトル、段ボール、鉄くずなどを回収し、ご利用者様と一緒に空き缶を潰したり、ペットボトルを専用のシュレッダーで粉砕したりしています。回収した資源ゴミは専門業者へ持ち込み、換金しています。

換金したお金は、花や野菜の苗の購入に使用し、ご利用者様と一緒に植栽したり栽培したりしていますよ☆
また、地域の皆様と廃品回収を行ったりもしています。

回収にはご家族様、地域の皆様にも協力して頂いており、大変助かっています。ありがとうございます(^~*)
HPで活動の報告をしているので、是非ご覧ください♪
(法人本部 川田)



エコ活動紹介ページ

最近よく耳にするSDGs。
今後は芳香会独自の取り組みも考えて
いきたいと思ひます。

◇エコキャップ回収◇

ペットボトル飲料のキャップを回収しています。回収したキャップはNPO法人エコキャップ推進協会様を通して再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

◆お願い◆

ペットボトル飲料のキャップのみ
回収しています。

他のものが混ざらないようご協力
よろしくお願いいたします。



持続可能な開発目標 (SDGs) とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより引用)



機能訓練で能力アップ ～自分らしい生活を送るために～

機能訓練サービスを開設して、三年が経ちました。一年六ヶ月の訓練を終え卒業した方々は、人との交流と自分の健康維持のために他施設に通い、運動を継続されている方、自動車運転が可能となり、仕事に復帰できた方等、社会復帰へと送り出すことができました。そして、新しい利用者も増えました。「病院を退院した後、仕事に復帰しようと思ったけど、今の身体でできるのか。一日中働ける体力はあるのか。」「自宅で生活していたけど、できることを増やしたい。」「もっと歩けるようになりたい。」そんな希望をもった利用者が地域で自分らしく生活が送れるように支援を行っています。

当事業所の機能訓練サービスの内容は、個別プログラムと集団プログラムがあります。個別プログラムでは理学療法士、言語聴覚士の個別の訓練を受けられます。訓練を行っていく中で、自分でできる訓練は自主練習としてスタッフと一緒に負荷量を調整しながら行っています。ストレッチや筋力トレーニング、日常生活動作や家事動作練習、高次脳機能障害プログラム、外出手段の獲得等、一人一人の目標に向かってプログラムを作成し、行っています。集団プログラムでは、集団体操、歩こう！歩こう会、作業活動、リハビリスポーツ、社会生活力プログラムを行っています。集団プログラムで特に力を入れて行っている活動が、社会生活力プログラムです。このプログラムでは自分らしく、社会の一員として、豊かな生活を送れるよう



うに自分自身の健康や生活、障害の理解、他者とのコミュニケーション、人間関係、地域生活、就労、外出、制度・サービスについて、グループ討議や資料、インターネットで情報収集を行い、学んだことを実践していきます。障害福祉制度・サービスについて学びたい、サービスを使ってよりよい生活を送りたいと感じている利用者が多くいらっしゃいます。

機能訓練はこのようなプログラムを行うことで社会参加、社会的自立の準備を行い、利用終了後は社会の一員として生活できるように支援を行っています。まだまだ、事業として駆け出しではありますが、障害があってもみなさんと同じ地域で、地域のみなさんの協力も得ながら、自分らしく生活ができるように支援を行っています。

(芳香会病院青嵐荘療育園 小久保)



訓練器具のご紹介



【トレッドミル】

歩行練習や有酸素運動を行っています。体重を免荷して歩行を行える機械もあるので、歩くことが難しい方でも歩行練習を行えます。



【ドライブシュミレーター】

自動車の運転再開を目的に評価や操作練習を行います。アクセル、ブレーキ、ハンドルの反応速度や交通ルールを守り、危険を予測して運転ができるかの評価、練習を行います。運転再開に関しては主治医と連携して支援を行っています。



【訓練スペース】

ベッド上やマットを敷いて、ストレッチや筋力トレーニングを行っています。平行棒ではバランス練習や歩行練習を行っています。



社会福祉法人 芳香会 事業所トピックス



『住民主体の地域づくり・生活支援体制整備事業』 結城市地域包括支援センター南分室

地域づくりを目指す事業の1つに生活支援体制整備事業があります。この事業は住民が自分達の住む地域について話し合いの場(協議体)を設け、情報を出し合い、その中から見えてきた課題を解決していくという取り組みです。誰もが住み慣れた家や地域で、親しい人たちと暮らし、最後までいきいきとその人らしく生活できる仕組み作りとも言えます。

当センターが担当する圏域では、今年度新たに1つの協議体が立ち上がり、計4つの協議体となりました。新たな協議体(江川南小学校地区)は青嵐荘特別養護老人ホームの地域でもあり、ホームの職員にもメンバーに加わってもらいました。協議体のメンバーは、地域住民を中心に構成されています。

主な成果としては、高齢者の見守り、サロン、小学生の登下校時の見守り、老朽化した通学路安全マップの見直しなどがあり、少しずつ形になってきています。

地域包括支援センターの職員として、協議体は地域のことを知るととても良い機会にもなっています。引き続き地域の方々を主体に情報交換を行いながら、一員としてサポートしていきたいと思います。(木立)



『活動場所が変わりました!』

芳香会病院青嵐荘療育園通所事業所



療育園の新築建替え工事に伴い、同じ敷地内にあった通所事業所が工事区域になりましたので、令和2年9月に療育園内へ引っ越しをしました。

新しい活動場所は2部屋の壁をなくしワンフロアにしました。引っ越し前の活動場所に比べると少し手狭に感じますが、以前以上に壁面をデコレーションし明るく、楽しい雰囲気作りをしています。使用していた旧通所事業所の取り壊しを見て寂しさもありましたが、普段見かけない特殊重機や車両を間近で見ながら、ご利用者も不安な様子はみられずに振動や音も感じる特別な経験ができ、楽しまれていらっしゃいました。

新療育園の完成まで1年以上ありますが、ご利用者やご家族のご協力を得ながら、新しい活動場所で安心して過ごしていただけるよう、職員一同

尽力して参ります。

また、通所は平成27年にも引っ越しを経験しており、引っ越しは得意です。新療育園の完成を楽しみに、準備を進めながら過ごしたいと思います。(竹内)

『地域との交流』

介護保険支援センター青嵐荘(総和)

介護保険支援センター青嵐荘(総和)は、地域の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けられるようになる地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域住民・町内会・自治会・医療機関・ボランティア等と連携を図り、定期的に行われる地域交流会に参加しています。

当センターの地域である古河市第9地区では、住民同士が交流することでお互いの顔が見える関係を築き、より安全な住みやすい地域を作ることを目指す『SUN9サロン(太陽のように明るい第9地区)』があります。第9地区居住の方を中心に民生委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・第9地区内の介護支援専門員等が参加しています。

通常は月1回の意見交換会ですが、昨年2月には西牛谷集落センターで、『SUN9サロン交流会』として、カラオケ大会やお囃子、フラダンスが開催されました。30名近くの地域の方々の参加があり、「地域が盛り上がりっていいね」「こういうイベントはこれからも続いてほしい」との声も聞かれました。現在、コロナ禍ということでSUN9サロンは開催されていませんが、今後も地域とのつながりを継続し、地域の相談窓口としてお役に立てるよう努力していきたいと思います。(永滝)



芳香会活動報告

移動献血事業を実施いたしました。

芳香会では地域貢献活動の一環として茨城県赤十字血液センターが行う献血活動に協力しております。昨年十一月、通算第十九回目の移動献血事業を実施いたしました。コロナ感染が心配されることから今回は法人内職員のみを対象に行いました。忙しい業務の合間をぬって多くの職員にご協力いただきました。今後も継続して取り組んで参ります。

(法人本部 吉金)



障害者福祉施設作品展を開催しました。

青嵐荘療護園では、毎年十二月にある障害者週間に合わせ、近隣の小中学校に依頼し、障害者福祉施設作品展を行わせて頂いています。今年度は二〇二〇年十二月二日〜九日の期間にご利用者様、職員で協力して作った作品を展示させて頂きました。また、作品展の感想も頂いています。生徒の方から頂いた感想をご紹介します。

・本物みたいなドラえもんできつくりしました。
・紙コップ工作のサンタとトナカイが可愛いです。
・個性のある作品がたくさんあり、見ていて楽しいです。
す。……その他沢山の感想をお寄せ頂きました。ありがとうございます。

(法人本部 川田)



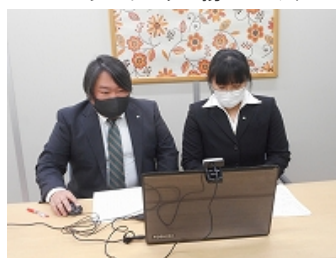
第十七回実務研究発表会

二〇二〇年十二月十八日、第十七回実務研究発表会を行いました。今年度はオンライン(Zoom)で各事業所や外部の方に聴講者として参加して頂きました。また、オプザーバーとして二名の先生に参加して頂きました。

【発表内容】

- ① 牛ヶ谷保育園・たま保育園：保育分野のICT化
 - ② 特別養護老人ホーム：マニユアルの動画化による気付き
 - ③ 社会福祉研究所：障害者の社会的包摂に向けた支援のあり方
- 年に一度ではありますが、業務内容を可視化したり、データ化することによってよりよい福祉サービスの提供につなげていけるよう継続していきたいと思っています。

(法人本部 川田)



芳香会スケジュール

二〇二一年	
二月 二十六日	苦情受付体制委員会主催 第二回法人内研修会
三月 五日	法人内ヒアリング
三月 十三日	理事会
三月 十六日	新任職員・随時採用職員 合同研修会
三月 二十五日	入社式・四月一日付辞令交付式
三月 二十七日	評議員会

編集後記

寒くなり煮物を作る機会が増えました。つい沢山の量を作り過ぎて、子供たち家族におすそ分けをしています。Stayホーム。この言葉から間もなく一年。外食ができない、テイクアウトも限られてしまう。生活が変わる事の大変さを痛感するこの頃です。(光)

最近のマイブームは、炒飯を作ることです。いかにパラパラにできるかを目標にしています。ユーチューブの動画を参考にし、油を多めにしたり、高火力で炒めたりしていますが、なかなかパラパラにはならないものです。ご飯の問題でしょう。(剛)

お料理のテイクアウトや食材のお取り寄せにハマっています。普段行けない遠方のお店のお取り寄せも出来るので楽しいです。お勤めのお店があつたら是非教えてください。ささやかですが、飲食店や生産者さんの応援をしながらこの苦境を乗り越えていきたいです。(礼)

キャンプが趣味の我が家は先日薪ストーブを購入しました。近頃はコロナの為に全くキャンプに行けていませんが、庭で試運転をしてみたところ想像以上の暖かさに驚きました。来年は冬キャンプに行けることを願っています。(麻)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027 (代)

FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp



※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

